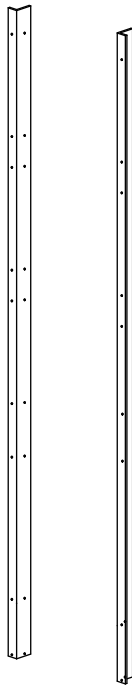
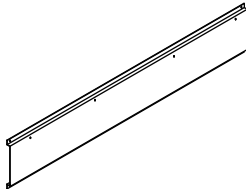
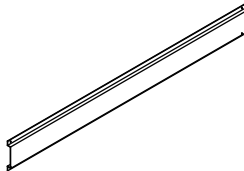
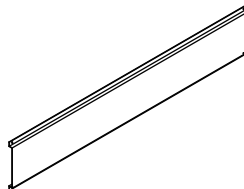

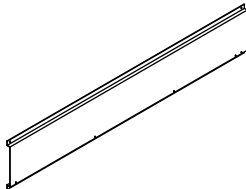

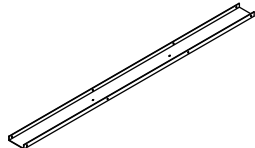


ハートフル サイズオーダー オートスライドドア（片引ポケットハイブリッド枠） 《枠施工用》

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。

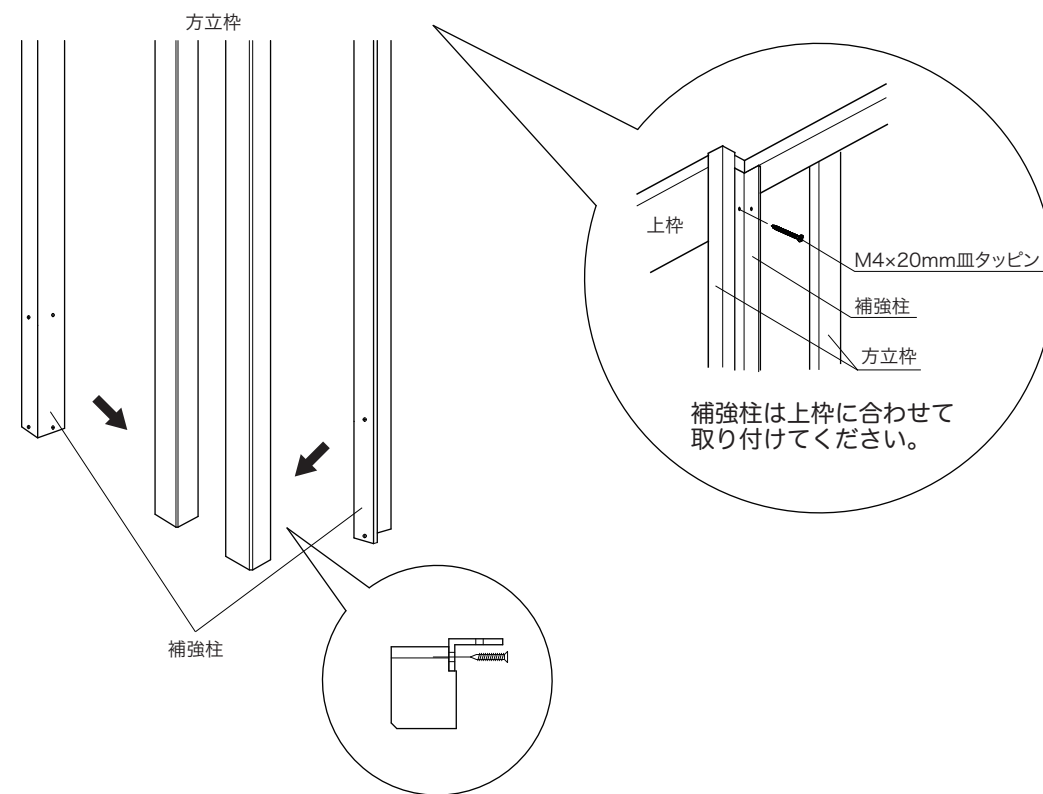
スチール製品部材梱包						
補強柱	右	左		上部補強板	1	
	1	1		補強板	4	
				手摺補強板	2	
D6皿タッピン M4×20mm				幅木補強板	2	
D6皿小ネジ M4×6mm				下枠	1	

取付け順

1. 補強柱の取付け

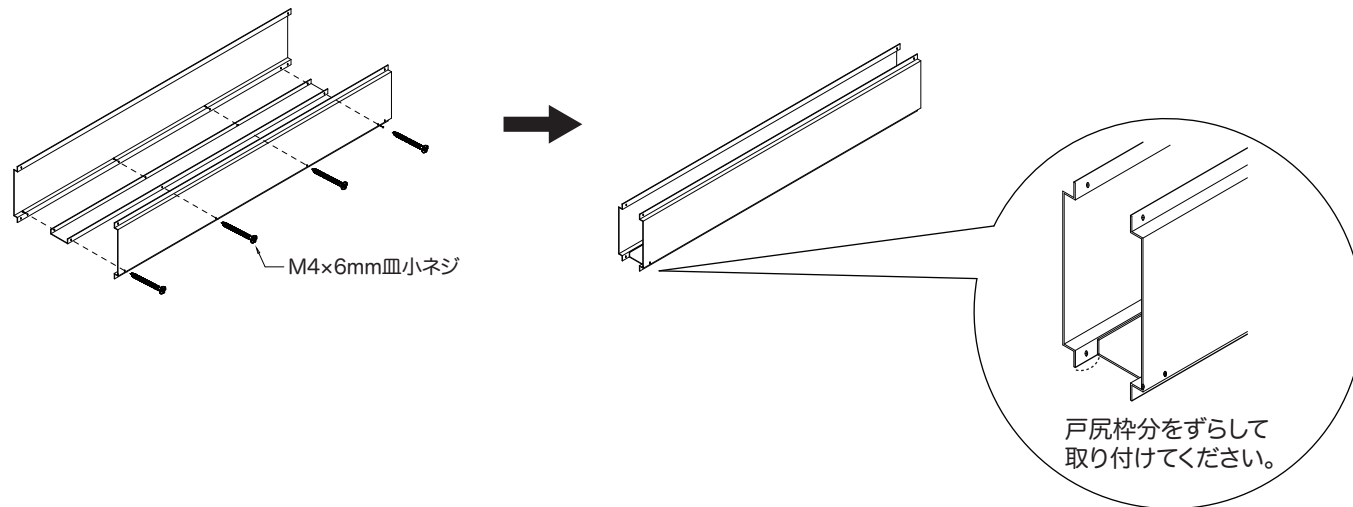
①補強柱を方立枠へ設置してください。木製枠への取付けはM4×20mm皿タッピンを使用してください。

注意 方立補強柱には上下があります。上下を確認して取付けを行ってください。



2. 下枠の取付け

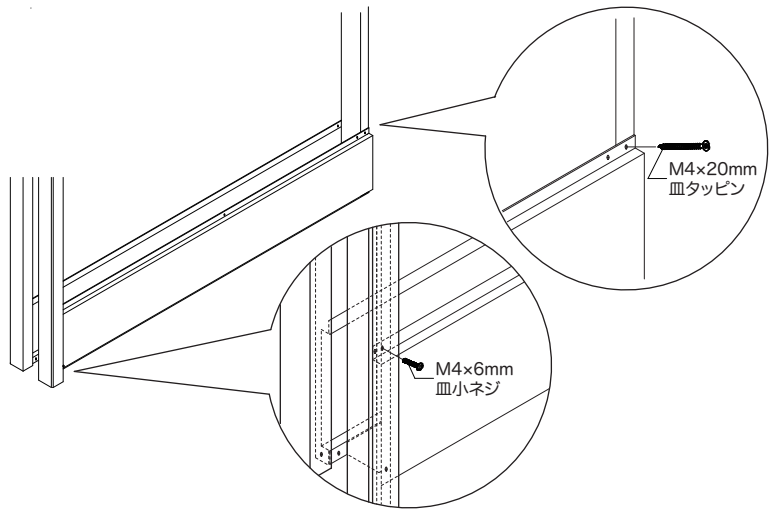
①下枠と幅木補強板を、M4×6mm皿小ネジにて組み付けてください。



3. 幅木補強板の取付け

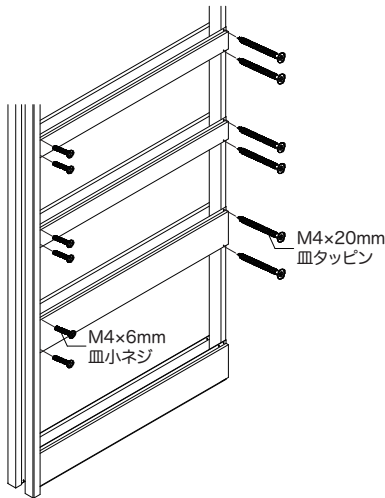
※基本、SD部品同士の組付けはM4×6mm皿小ネジ、SDと木製部品の組付けはM4×20mm皿タップンを使用します。

- ①方立補強柱(SD)と幅木補強板を、M4×6mm皿小ネジにて組み付けてください。
- ②戸尻枠(木製)と幅木補強板を、M4×20mm皿タップンにて組み付けてください。



4. 手摺補強板・補強板の取付け

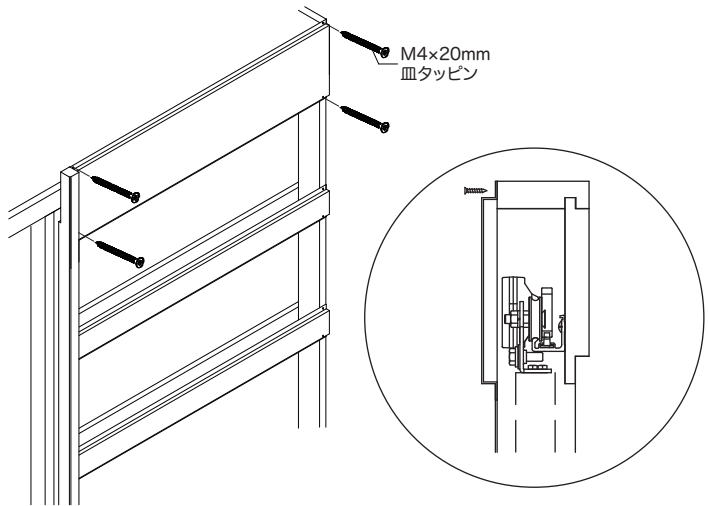
- ①方立補強柱(SD)と手摺補強板・補強板を、それぞれM4×6mm皿小ネジにて組み付けてください。
- ②戸尻枠(木製)と手摺補強板・補強板を、それぞれM4×20mm皿タップンにて組み付けてください。



5. 上部補強板の取付け

- ①鴨居枠(木製)と上部補強板を、M4×20mm皿タップンにて組み付けてください。

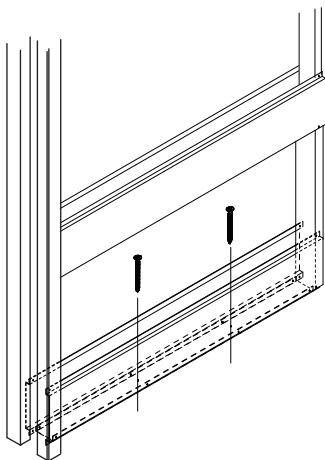
※ハンガーレールの場合は、戸袋ヘレールを取り付けてください。



6. 下枠の固定

- ①下枠(SD)を、枠のねじれ、床とのレベルを確認して固定してください。

注意 下枠の固定は、現場に合わせコンクリートビスまたは木ビス(現地調達)にて行ってください。

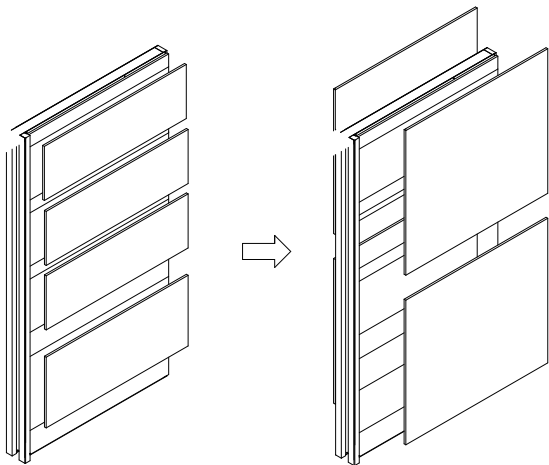


7. ボードの取付け

- ①補強板と補強板の間に、ボード(1重目)を取り付けてください。

注意 ハンガーレールの場合は、戸袋へのレール取付けをもう一度確認してください。

- ②ボード(1重目)の上に、ボード(2重目)を取り付けてください。



※扉の取付けにつきましては、扉施工用の取扱説明書をご参照ください。

施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

<使用上のご注意>

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります)。
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。